

ふるさと学習の方向性について

1 ふるさと学習の現状

大野市小中学校再編計画 6ページ参照

平成28年3月 大野市教育大綱を策定（大野市の教育における最上位の方針を示したもの）

基本理念 「大野市教育理念」 明倫の心を重んじ 育てよう 大野人

- 基本施策1 結の心あふれる人づくり
- 基本施策2 豊かな心を育てる文化力の育成
- 基本施策3 活力あふれるスポーツ社会の実現

施策1 地域の特性を生かし、ふるさとに根ざした特色ある学校づくり【抜粋】

地域の特性を生かしたふるさとを知り、ふるさとを創る活動を通して、大野人の育成を図ります。

児童生徒一人一人の豊かな心やたくましく生きる力を育むため、積極的に体験活動を取り入れるとともに、地域の人々とのふれあい活動を展開します。

教員一人一人の指導力の向上と、家庭・地域との連携を推進し、学校の教育力の向上を図ります。

（1）ふるさとを知り、ふるさとを創る学習の充実

- ① ふるさとを題材にした冊子「わたしたちの結の故郷」を活用するなど、教育活動全体を通して結の心を育てます。
- ② 小学生による「結の故郷ふるさと学習交流会」や、中学生による「結の故郷中学生みこし・ダンスパフォーマンス」などを開催し、ふるさとへの誇りと愛着を育てます。
- ③ 小学校において、大野の先人の生き方や偉業を学び、明倫の心を育てます。

（2）学校の教育力の向上

（3）学校教育環境の整備

ふるさと学習の方向性について

2 学校でのふるさと学習(令和2年度) ◎主に総合的な学習の時間を活用

【平成24年4月 蕨生小学校 → 富田小学校】

蕨生小学校

総合的な学習の時間
ふるさと学習「里神楽」



富田小学校

引き継ぐ

○特設クラブ「神楽クラブ」(1月結成)

- ・蕨生地区の児童に限らず希望する児童が参加
- ・地域の人が講師として指導、公民館との連携
- ・4月の第1週の日曜日に発表
- ▲講師の世代交代が進み、若い講師はクラブの時間に仕事を休みにくい。

○総合的な学習の時間

3年「富田の宝つたえ隊」

- ・地域の歴史、残したいものの調査
地区区長のお宝案内

4年「富田の水防衛隊」

- ・内川の水性生物調査、水環境を守る実践
水土里ネットの協力

5年「地域をつなぐ」

- ・自然薯栽培、地域のためできること
自然薯ファーム大野の協力

6年「みんなのために」

- ・地域の働く人々の姿、様々な職業調査
- ・働くことの意義、自分の将来

【令和3年4月(予定) 乾側小学校 → 下庄小学校】

乾側小学校

○総合的な学習の時間

3・4年「地域の歴史伝統・ふれあい」

- ・犬山城址、雨乞い踊り
雨乞い踊り保存会の協力



5・6年 環境学習「乾側の農業を学ぶ」

- ・農業用排水路の生物・水質調査
アバンセ乾側、水土里ネットの協力

下庄小学校

○総合的な学習の時間

3年「大野の水」

- ・大野の水、下庄地区のお清水調査

4年「SDGs 環境教育」

- ・大野の自然、コロナとともに生きる

5年「大野の歴史をさぐる」

- ・城、偉人、寺

6年「大野のよさを広めよう」

- ・大野のよさの発見、調査、魅力発信

ふるさと学習の方向性について

3 意見交換会やアンケートでの意見

1 教育に関する意見交換会（令和元年5月28日～11月28日 計41回 延べ794人参加）

地区の人が地区の子どもを育てていく環境（地域行事など）は止めてはいけない。地域住民がどうやって子どもを育てていくかの面にも、学校教育と同じぐらい光を当てていかないといけないと思う。

大野に来て感じたことは、地域の子どもは地域で守ることをすごく感じている。再編で地域に学校がなくなることを不安に感じている人は多いと思う。

中学校は部活のこともあるが、大きいコミュニティの中で成長してほしいので、小学校より先に再編を進めてほしい。小学校時代は地域で育てていきたい。

小学校は地域の行事に参加して育ててもらえており、大事なことと思っている。
地域と子どもの間を埋める代替案、公民館を使うなど、地域との関係を保っていけるような方法があればと思っている。

小学校が地域からなくなると、子どもの姿が見えなくなるので寂しい。子どもの姿が地域で見れることは癒しである。

家族や校区の住民、地域の協調社会の中で子どもは育てていくべきと思う。それを踏まえて、学校の適正な規模を考えていかないといけない。以前は、子どもを育てることに対して効率主義を前面に出していたと思う。それぞれの地域で育てることを見失ってはいけない。

ふるさと学習の方向性について

3 意見交換会やアンケートでの意見

2 将来の教育環境に関するアンケート調査（教育シンポジウム及び意見交換会参加者 944人中822人回答）

地域とのつながりを大切にした学習はどうするのか。誰が教えてつないでいくようになるのか。継承していけるのか。

小学校がなくなると地区がすたれるのではないか。地区のまとまりはなくなる。

小学校がなくなるとは地域コミュニティにとって大きな課題（それをどう克服していくか）

家庭・地域の良さを子供たちが感じることができる大野の教育環境はそれだけでも素晴らしいこと。

より良いより良いというが、上ばかりを求めていくと足元がぐらつくというような気がします。人口減少するから……というのではなくて、人口減少するなかでも人生道を歩く人としての基盤を育てる子供時代を生きる(学ぶ)学校教育として教育環境を準備する。ふるさと大野になるためにも大野独特の環境づくりをつくる。

大野をテーマにした学習をしていて子供たちは、知らず知らずのうちに大野の事を知る機会となっている。それが大野を大切に思う気持ちにつながっている。

学校は地域のコミュニティの核であり、小学校がなくなるとは慎重にしてほしい。子供は地域の宝です。

大野市の現状に合った教育方針があっても良いように思います。他の市町では学ぶ事が出来ない、体験することが出来ないすばらしい社会資源があるので、それを活かしたアクティブラーニングをすすめられても良いと思います。

子どもが大人になってから戻りたい地域、学校になるといいと思います。

地域とのつながりを大切にしてほしいと思う。地域の協力なくして学校はないと思う。学力だけでなく心の教育にも重きを置いてほしい。

地域における子どもを育てる組織、仕組みを見直すことが必要と思います。

ふるさと学習の方向性について

4 学校でのふるさと学習

総合的な学習の時間 (新学習指導要領より)

【目的】

探究的な見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、よりよく課題を解決し、**自己の生き方を考えていくための資質・能力を育成する。**

- 各学校が**ふさわしい探究課題**を設定する
国際理解、情報、環境、福祉・健康、地域 (児童の興味関心)
- 身近な自然環境とその問題、地域の伝統や文化、その継承
- 実社会で働く人々の姿と自己の将来



主に、総合的な学習の時間を活用してふるさと学習を推進してきた。今後、**各校の実態や子どもたちの思いに合わせて、探究活動を主とした総合的な学習の時間の充実を図る。**

これからの大野市のふるさと学習

- ふるさと学習は、各学校の特色を生かしつつ地域と連携した学習を進めていく。
- 総合的な学習の時間では、自ら課題を設定し、探求活動を実施し、家庭や地域に積極的に発信するふるさと学習を展開する。
- 地域の伝統の継承については、各地域や公民館が推進していくなど、地域ぐるみで考えていく必要がある。

他の小学校の再編後の状況 (蕨生小学校 → 富田小学校へ統合)

蕨生小学校で実施していた地域の伝統を学ぶ取り組みを富田小学校や公民館が引き継いでいるものがある
放課後こども教室は、公民館において実施している

地域(地区)を知る取り組みは、富田小学校が引き継いで行っている

乾側小学校の先行再編に向けた協議の状況 (保護者、小学校の考え)

児童に、乾側地区に対する誇りを持たせたい

放課後こども教室は、再編後も継続してほしい

学校で実施していた行事について、乾側地区で引き継げるものは継続して実施してほしい

ふるさと学習の方向性について

5 ふるさと学習の課題と教育委員会の考え

➤ 意見交換会、アンケートからの課題

再編によって地域（地区）から学校がなくなる不安感

- ・寂しい、衰退する、地域の伝統が継承されない
- ・学校と地域が連携しにくくなり、住んでいる地域のことが学べなくなる



□ 教育委員会の考え

小学校の再編にあたっての基本姿勢を「地域で育てる」としている。

幼少期は、今までどおり地域の温かい見守りの中で育てること、地域の協力をお願いすることを基本にした取り組みを進めていく方針としている。

このため、地域から学校がなくなる不安感を拭い去るため、計画を進める際には学校、保護者、地域の人たちと丁寧に話し合うことで、理解を深め地域の実情に合ったあり方を確立する。

地域と学校、公民館（行政）が連携し、子どもたちが地域のことを学び、誇りや愛着を持つことができるものとする。

《具体的な対応策の例》

- ・寂しい、衰退する

公民館を活動の拠点として、子どもたちを地域に戻す（放課後こども教室など）

- ・地域の伝統が継承されない

地域コミュニティが維持できるよう、地域と学校、公民館（行政）がそれぞれの役割を確認しながら、連携・協働して地域の文化・伝統を継承する（ふるさとの宝を調べたり、各地区に伝わる伝統芸能の体験など）

- ・学校と地域が連携しにくくなる

地域における学校の役割は統合した学校に引き継がれるが、学校でできなくなるものについては、お互いの話し合いの場を設けてそれぞれの役割を確認、分担して連携する

公民館、地域、学校が連携することで、小学生だけでなく地区内に住む中高生なども取り込むことが可能になり、活動の幅がさらに広がる（祭り、体育大会など）